

2012年度事業報告

（ 自 2012年4月 1日
至 2013年3月31日 ）

特定非営利活動法人
ユーラシア21研究所

目次

第1編	総括報告	
1	総括	p 3
第2編	組織	
1	会員	p 5
2	役員	p 5
3	事務所	p 5
4	機構	p 6
5	事務局	p 6
6	監督官庁への届出	p 6
7	登記	p 6
8	管理関係	p 7
第3編	定款規定会議の開催	
1	総会	p 7
2	理事会	p 8
第4編	事業	
1	助成事業	
(1)	ホームページの運用と情報提供	p 10
①	日本語ホームページ	
②	ロシア語ウェブサイト	
(2)	次世代ロシア研究者の育成	p 12
	月例研究会	
2	一般（自主）事業	
(1)	日本人専門家による学術調査研究	p 14
	ロシア研究会	
(2)	ロシアとの交流事業	p 14
①	ウラジオストク・フォーラム（2012）	
②	日露専門家会議（2013）	
(3)	関係先への協力	p 18
別表1	会員名簿、賛助会員名簿	p 21
別表2	役員名簿	p 22

2012年度事業報告書

当研究所の設立、運営及び事業の実施にあたって、日本財団（笹川陽平会長）の特段のご支援をいただいていることを、まずもって感謝したい。

また、外務省、一般社団法人東京倶楽部をはじめ、多方面からのご支援をいただいたことにも深謝したい。

さらに、設立六年度目を迎えた今年度も、当研究所の運営ならびに各種事業が概ね円滑に実施できたことは、関係各位の積極的なご協力の賜物であり、心から御礼申し上げる次第である。

第1編 総括報告

1 総括

わが国の外交は苦難の時代を迎えている。とりわけ、対露外交は、「歯舞・色丹・国後・択捉の“北方4島”の返還を実現しての日露平和条約を締結しよう」という日本側と、「歯舞・色丹の2島のみの返還で日露平和条約を」というロシア側の主張が平行線をたどり、昨今、見るべき進展がない状況となっている。

この問題の解決に向けて活動することを究極の目的とする民間レベルの機関として「特定非営利活動法人ユーラシア21研究所」が2007年3月15日に設立された。

このため、当研究所は、様々な分野の専門家の力を結集して、ロシアとの交流事業やロシア語による情報の発信などの対露関係各種事業を実施し、これらの諸活動を通じて北方領土問題の解決と日露平和条約の締結という国是ともいうべき課題の進展に寄与することを事業の目的とするものである。

また、ロシア及び同国極東地域にかかわる安全保障問題や国際関係などについても、鋭意研究を重ね、併せて、民間レベルの外交専門家の高齢化が顕著となっている現実に鑑み、次世代の関連研究者の育成を図ることである。

当研究所は、設立初年度に継承した新しい日露関係・専門家対話等の専

門家による学術的対露交流事業及びロシア語によるウェブサイトでの情報の発信や安全保障問題ならびに北方領土問題に係る各種学術的研究会等といったわが国における民間レベルの対露外交チャンネル確立のための諸事業を実施することにより、ロシアとの活発な学術交流の輪を広げるとともに、多くの専門家に研究と議論の場を提供して、政府に対する北方領土問題、ロシア及び極東・東アジア地域安全保障問題に係る政策の提言を行う。これによって、広く輿論を啓発し、当研究所の社会的影響力の向上を図ることに重点を置くことに努めた。

第2編 組 織

1 会 員

2012年度における会員の状況は次のとおりである。

① 正会員

年度当初における正会員は10名が在籍し、年度中途における移動はなく、年度末に至った。

② 賛助会員

年度当初における賛助会員は6社が在籍し、年度中途における移動はなく、年度末に至った。

なお、2013年3月31日現在における会員名簿は、別表1のとおりである。

2 役 員

2012年度当初における役員は、理事7名（定数3名以上7名以内）、監事1名（定数1名以上2名以内）が在職したが、その後年度中途における異動はなく、年度末に至った。

なお、2013年3月31日現在における役員名簿は、別表2のとおりである。

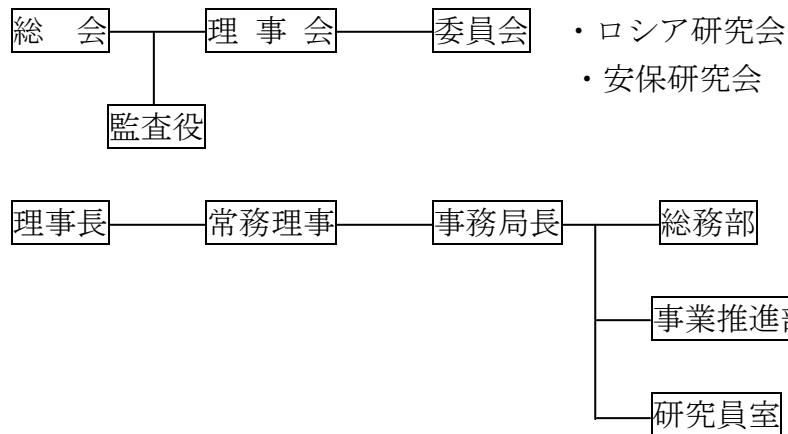
3 事務所

事務所（登記上と同一場所）は、次のとおりであり、年度途中における変更はなく、年度末に至った。

- ① 所在地： 東京都港区赤坂二丁目21番12号アローム赤坂2-3階
- ② 面積： 156.10㎡（47.22坪）
- ③ 電話： 03-5545-9955
- ④ ホームページ： <http://www.eri-21.or.jp/>

4 機 構

2012年度当初における当研究所の機構は、次のとおりであり、年度途中における変更は無く、年度末に至った。



5 事務局

2012年度当初における事務局の要員として、次の常勤役員及び職員が在職し、年度末に至った。

また、年度末現在における客員研究員は72名が在籍し、その名簿は別表3のとおりである。

理事長	吹 浦 忠 正
常務理事 (兼事業推進部長)	吉 岡 明 子
事務局長	柴 田 良 彦
総務部員	石 川 雅 子

6 監督官庁への届出

特定非営利活動法及び同法施行条例に基づき、東京都生活文化局都民生活部管理法人課へ次のとおり届出を行った。

- ① 2011年度事業報告書等の提出 <2012年6月12日>

7 登記

特定非営利活動促進法及び登記令に基づき、次のとおり変更登記を行った。

- ① 2012年3月31日現在における資産総額変更の登記及び役員変更の登記 <2012年5月11日>
- ② 代表権に関する変更の登記 <2012年7月17日>

8 管理関係

(1) 日本財団からの助成金受領

公益財団法人から、2012年度助成金を以下のとおり受領した。

① 第一次助成金受領

2012年4月26日 4770万円

② 第二次助成金受領

2012年7月26日 2000万円

(2) 東京倶楽部からの助成金受領

2012年9月21日、一般社団法人東京倶楽部から、日露専門家会議（2013）開催に係る助成金100万円を受領した。

(3) 国際交流基金への助成金申請

2012年12月3日、独立行政法人国際交流基金に対し、ウラジオストク・フォーラム（2013）開催に係る助成金291万3325円の申請を行った。

(4) 日本財団への助成金一部返還

2012年11月1日、公益財団法人日本財団に対し、2009年度助成金の一部306万3千円を返還した。また、2013年4月末日までに2010年度助成金の一部357万2千円を返還する予定である。

第3編 定款規定会議の開催

1 総会

第6回通常総会

・開催日時： 2012年5月18日 14時40分～15時00分

・開催場所： 当研究所理事長室

・出席者： 出席会員9名（会員総数10名）

うち、委任状提出者1名

・議題：

第1号議案 2011年度事業報告について

第2号議案 2011年度決算報告について

事務局より両議案の内容について説明し、ついで監事より、監査の結果正確適法であった旨報告された後、提案どおり承認議決した。

第3号議案 2012年度事業計画について

第4号議案 2012年度収支予算について

事務局より両議案の内容について説明の後、提案どおり承認議決した。なお、予算の組み替えにならない範囲において事業計画および収支予算の一部修正権限を理事会に付与する旨付帯議決した。

第5号議案 任期満了に伴う役員の変更について

議長より、全役員は、定款第16条第1項及び第2項の規定により、6月3日をもって任期満了となる旨述べ、新役員の選任方法について意見を求めたところ、議長より新役員を指名することとなり、議長は、次の各氏を新役員に指名し、一同に諮ったところ満場一致をもって指名どおり選任することに議決した。なお、被選任者は即時その就任を承諾した。

理事 大貫 康雄、木村 汎、佐瀬 昌盛、西原 正、兵藤
長雄、吹浦 忠正、吉岡 明子

監事 児玉 泰子、袴田 茂樹

また、議長より、臨時理事会において、理事長、常務理事が次のとおり選任され、それぞれ就任した旨報告し、一同これを了承した。

理事長 吹浦 忠正

常務理事 吉岡 明子

2 理事会

① 第18回理事会

- ・開催日時： 2012年5月18日 14時30分～14時40分
- ・開催場所： 当研究所理事長室
- ・出席者： 理事7名（理事総数7名）
うち、委任状提出理事1名
監事2名（監事総数2名）
事務局1名

・議題：

第1号議案 2011年度事業報告について

第2号議案 2011年度決算報告について

議長より、出席理事一同に諮ったところ、満場一致をもって異議無く提案どおり承認し、この後開催される第6回通常総会へ上程することに議決した。

② 臨時理事会

- ・開催日時： 2012年5月18日 14時50分～14時55分
- ・開催場所： 当研究所理事長室

- ・出席者： 理事7名（理事総数7名）
うち、委任状提出理事1名
監事2名（監事総数2名）
事務局1名

- ・議題：

第1号議案 理事の互選について

議長より、定款に基づく理事の互選による理事長及び常務理事を選出したい旨述べ、一同に諮ったところ満場一致をもって次のとおりそれぞれ選任された。なお、被選任者は即時その就任を承諾した。

理事長 吹浦忠正

常務理事 吉岡明子

③ 第19回理事会

- ・開催日時： 2013年3月12日 10時30分～11時30分
- ・開催場所： 当研究所理事長室
- ・出席者： 理事7名（理事総数7名）
うち、委任状提出理事1名
監事2名（監事総数2名）
事務局1名

- ・議題：

第1号議案 2013年度事業計画について

第2号議案 2013年度収支予算について

議長より出席理事一同に諮ったところ、出席理事及び監事による質疑応答の後、付帯事項を含めて満場一致をもって提案どおり第9回通常総会へ提出することに承認議決した。

第3号議案 総会前経費の支出について

事務局から、配布資料3を基に、2013年度の通常総会前経費の支出について説明した。議長より出席理事一同に諮ったところ、満場一致をもって提案どおり承認議決した。

第4編 事業

1 助成事業：日露関係の新たな発展のための調査研究の推進

(1) ホームページの運用と情報提供事業

① 日本語ホームページの運用

ホームページの「視点」「ERIからの発信」に次の小論文・告知を掲載した。

- ・掲載日： 2012年10月19日
題名： 「尖閣諸島を巡る課題に思う」
執筆者： 吹浦忠正氏（当研究所理事長）
- ・掲載日： 2013年2月18日
題名： 「国際シンポジウム『世界からみた北方領土』のお知らせ」

② ロシア語による情報発信

ロシア語ウェブサイトにて次の記事を掲載した。

- ・掲載日： 2012年4月17日
題名： 「中露戦略パートナーシップの虚実」
執筆者： 兵頭慎治氏（防衛研究所米欧ロシア研究室長）
- ・掲載日： 2012年4月23日
題名： 「日本の海洋政策 海洋基本法の基本理念とは？」
執筆者： 山田吉彦氏（東海大学海洋学部教授）
- ・掲載日： 2012年5月11日
題名： 「変化する国際環境と日本人の対外態度」
執筆者： 安野正士氏（上智大学国際教養学部准教授）
- ・掲載日： 2012年5月22日
題名： 「プーチン新政権と民主化の展望」
執筆者： 常盤伸氏（東京新聞外報部デスク兼論説委員）
- ・掲載日： 2012年5月29日
題名： 「日本とロシア 歴史の教訓」
執筆者： コンスタンチン・サルキソフ氏（ロシア科学アカデミー日本研究会名誉会長）
- ・掲載日： 2012年6月7日
題名： 「フォン・ヴィッテ男爵に対する日本についての三つの質問」
執筆者： ユリヤ・ストノーギナ氏（国際ビジネス・コミュニケーション

- ・掲載日： 2012年6月25日
題名： 「米国を意識したみせかけの中露緊密関係」
執筆者： 濱本良一氏 (国際教養大学東アジア調査研究センター教授・副センター長)
- ・掲載日： 2012年7月18日
題名： 「秋田県がプーチン大統領へ秋田犬を贈呈へ」
執筆者： 名越健郎氏 (拓殖大学海外事情研究所教授)
- ・掲載日： 2012年7月25日
題名： 「ミャンマー少数民族対策」
執筆者： 笹川陽平氏 (日本財団会長)
- ・掲載日： 2012年7月31日
題名： 「ドストエフスキー・ブームが終わった」
執筆者： 布施裕之氏 (読売新聞東京本社読者センター部長)
- ・掲載日： 2012年8月13日
題名： 「『気配り』への無理解と危険な日露関係」
執筆者： 袴田茂樹氏 (新潟県立大学教授)
- ・掲載日： 2012年8月21日
題名： 「日本の対露エネルギー資源輸入」
執筆者： W.C氏
- ・掲載日： 2012年8月31日
題名： 「プーチン氏の重い十字架」
執筆者： 佐藤貴生氏 (産経新聞外信部記者兼論説委員)
- ・掲載日： 2012年9月5日
題名： 「11月総選挙に向けて日本の政局緊迫も」
執筆者： 丹羽文生氏 (拓殖大学海外事情研究所准教授)
- ・掲載日： 2012年9月20日
題名： 「平和条約締結なら日本企業の大量進出も」
執筆者： 名越健郎氏 (拓殖大学海外事情研究所教授)
- ・掲載日： 2012年10月11日
題名： 「日本の首相がまた変わる 大衆迎合が蝕む次の政権」
執筆者： 松尾圭介氏 (時事通信社外信部記者)
- ・掲載日： 2012年10月22日
題名： 「日ロビジネスのさらなる発展のために」
執筆者： ユリヤ・ストノーギナ氏 (国際ビジネス・コミュニケーション協会ロシア支部副支部長)
- ・掲載日： 2012年10月29日

- 題名： 「ソ連崩壊20年とプーチン2.0の意味」
 執筆者： 杉浦史和氏（帝京大学経済学部准教授）
- ・掲載日： 2012年11月12日
 - 題名： 「深化する日米露の安全保障協力」
 執筆者： 小泉悠氏（未来工学研究所研究員）
 - ・掲載日： 2012年11月26日
 - 題名： 「日中関係とロシア」
 執筆者： 石川慎介氏（NHK報道局国際部）
 - ・掲載日： 2012年11月29日
 - 題名： 「12月16日に総選挙 自民党中心の政権が誕生へ」
 執筆者： ロシア語ウェブサイト編集部（ユーラシア21研究所）
 - ・掲載日： 2012年12月20日
 - 題名： 「大江、村上らの『反日発言』がロシアで受け入れられなかった理由」
 執筆者： 布施裕之氏（読売新聞東京本社読者センター部長）
 - ・掲載日： 2012年12月27日
 - 題名： 「政権交代は対外政策に如何なる影響を与えるか」
 執筆者： 袴田茂樹氏（新潟県立大学教授）
 - ・掲載日： 2013年1月11日
 - 題名： 「秋田犬ブーム 世界に広がる」
 執筆者： 名越健郎氏（国際教養大学特任教授）
 - ・掲載日： 2013年1月23日
 - 題名： 「東京の地下鉄」
 執筆者： W.C氏
 - ・掲載日： 2013年1月30日
 - 題名： 「新自民党政権の海洋政策」
 執筆者： 山田吉彦氏（東海大学海洋学部教授）
 - ・掲載日： 2013年2月12日
 - 題名： 「日本の地政学構想について」
 執筆者： 佐藤丙午氏（拓殖大学海外事情研究所教授）
 - ・掲載日： 2013年2月28日
 - 題名： 「日本ブランドが『贅沢なもの』から『家庭的なもの』へ生まれ変わる」
 執筆者： ユリヤ・ストノーギナ氏（国際ビジネス・コミュニケーション協会ロシア支部副支部長）

(2) 次世代ロシア研究者の育成

月例研究会

第1回

開催期日： 2012年6月8日

開催場所： 当研究所3階会議室

講師： コンスタンチン・サルキソフ氏

(ロシア科学アカデミー日本研究会名誉会長、山梨学院大学名誉教授)

討議内容： 「プーチン政権再発足と日露関係の展望」

第2回

開催期日： 2012年7月13日

開催場所： 当研究所3階会議室

講師： 酒井明司氏

(三菱商事天然ガス事業部第二本部新規プロジェクト開発ユニット・シニアアドバイザー)

討議内容： 「Putin 第3期の経済面での課題」

第3回

開催期日： 2012年9月14日

開催場所： 当研究所3階会議室

講師： 上月豊久氏 (外務省欧州局長)

討議内容： 「最近の日露関係とロシア情勢」

第4回

開催期日： 2012年10月12日

開催場所： 当研究所3階会議室

講師： 西村陽一氏

(朝日新聞グローブ編集長、前清華大学高級訪問学者)

討議内容： 「中国の変化について」

第5回

開催期日： 2012年11月8日

開催場所： 当研究所3階会議室

講師： ナイリ・ラティポフ氏 (駐大阪ロシア連邦総領事)

討議内容： 「最近のロシア情勢と日露関係」

第6回

開催期日： 2012年12月13日

開催場所： 当研究所3階会議室

講師： 小泉悠氏 (公益財団法人未来工学研究所研究員)

討議内容： 「ロシアのアジア太平洋安全保障戦略」

第7回

開催期日： 2013年2月8日

開催場所： 当研究所3階会議室
講 師： 名越健郎氏
(拓殖大学海外事情研究所教授、国際教養大学特任教授)
討議内容： 「安倍政権下における対露外交」

2 自主事業

(1) ロシア並びに日露関係に関する調査研究

ロシア研究会

第31回

開催期日：2012年4月10日
開催場所：当研究所3階会議室
討議内容：日露専門家対話の今後について

第32回

開催期日：2012年10月31日
開催場所：青山浅田
討議内容：新駐日ロシア大使歓迎食事会

第33回

開催期日：2012年12月4日
開催場所：当研究所3階会議室
討議内容：外務省新ロシア課長を招いての懇談会

(2) ロシアとの交流事業

① 「新しい国際秩序と太平洋地域」ウラジオストク・フォーラム (2012)

イ. 開催日：2012年9月25日、26日

ロ. 開催地：ロシア連邦ウラジオストク市

(ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史・考古学
民俗学研究所内会議室))

ハ. 内 容：

<全体テーマ>

「グローバル・パワーとしてのロシアと日本：アジア太平洋地域における利害と政策」

<第1セッション>

「新しい地域秩序：その形成の方途と問題点」

・ロシア側報告

「地域のアクチュアルな諸問題：ロシアの捉え方」 ラーリン V.L.氏

・日本側報告

「中国・北朝鮮・地域秩序」神谷万丈氏

<第2セッション>

「地域統合：その問題点とリーダーおよび関係諸国」

・ロシア側報告

「リージョナリズムと地域安全保障：アジア太平洋地域統合モデルの
パラドックス」ペスツォフ S.K.氏

・日本側報告

「膨張する中国に日露はどう対応すべきか」名越健郎氏

<第3セッション>

「露日関係および地域の安全保障問題における“第三の力”」

・ロシア側報告

「露日関係および地域の諸問題解決における“第三勢力”」
コジェヴニコフ V.V.氏

・日本側報告

「日本の安全保障環境と防衛戦略」村井友秀氏

<参加者>

【日本側参加者】

(敬称略、代表より下は 50 音順)

1. 袴田 茂樹 日本側代表、安全保障問題研究会会長、青山学院大学国際政経学部教授
2. 安野 正士 上智大学国際教養学部准教授
3. 伊奈 久喜 日本経済新聞社特別編集委員
4. 神谷 万丈 防衛大学校総合安全保障研究科・国際関係学科教授
5. 黒川 信雄 産経新聞東京本社編集局外信部記者
6. 名越 健郎 拓殖大学海外事情研究所教授、元時事通信社モスクワ支局長
7. 兵頭 慎治 防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室長
8. 兵藤 長雄 元外務省欧亜局長、元駐ベルギー大使
9. 吹浦 忠正 特定非営利活動法人ユーラシア 21 研究所理事長
10. 村井 友秀 防衛大学校国際関係学科教授

【ロシア側参加者】

(敬称略、代表より下はロシア語アルファベット順)

1. ラーリン V.L. ロシア側団長、ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史考古学民俗学研究所所長
2. アヴデエフ Y.A. 独立非営利組織「アジア太平洋移住プロセス研究所」所長
3. アドリアノフ A.V. ロシア科学アカデミー極東支部副会長
4. アフォニン P.Y. ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史考古学民俗学研究所上級研究員
5. バクラノフ P.Y. ロシア科学アカデミー極東支部太平洋地理学研

- 研究所所長
6. ボチャロフ L.N. 太平洋漁業研究センター所長
 7. ベルキン V.G. 極東連邦大学ビジネス・経営スクール校長
 8. プロヴァレツ A.P. ロシア外務省在ウラジオストク体表部代表
 9. ヴィストロフ Y.A. テクノホールディング「Sumotori」副社長
 10. ガルソヴァ L.N. ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史考古学民俗学研究所上級研究員
 11. ゴルチャコフ V.V. 沿海地方議会議長
 12. ディカリョフ V.P. 極東連邦大学
 13. イヴァネツ S.V. 極東連邦大学学長
 14. コジェヴニコフ A.E. ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史考古学民俗学研究所上級研究員
 15. コジェヴニコフ V.V. ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史考古学民俗学研究所日本対外政策・国際関係研究センター所長
 16. クズネツォフ V.S. 極東連邦大学国際・地域研究スクール校長
 17. クリチン Y.N. ロシア科学アカデミー極東支部副会長
 18. オガイ S.A. 海洋国立大学学長
 19. オストロフスキー A.V. 「ノーヴァヤ・ガゼータ」紙ウラジオストク支局編集長
 20. ペスツォフ S.K. ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史考古学民俗学研究所主任研究員
 21. ロゾフ V.M. ウラジオストク市議会議長
 22. サプリーキン V.G. ウラジオストク市役所国際関係・観光局局长
 23. セヴァスチヤノフ S.V. 極東連邦大学教授
 24. セメニヒン Y.N. 極東海洋船舶研究所理事長
 25. セルギエンコ V.I. ロシア科学アカデミー極東支部会長
 26. シモネノク V.I. 「ガスプロム・インヴェスト・ヴォストーク」地域生産局局长
 27. ステグニイ V.A. 公開型株式会社「Terneiles (テルネイレス)」副社長
 28. クリチン Y.N. ロシア科学アカデミー極東支部副会長
 29. ファトクリン A.A. 極東連邦大学教授
 30. フジヤトフ T.D. 極東連邦大学
 31. シリン N.N. 極東連邦管区ロシア全権代表事務局、沿海地方主任連邦監査官
 32. シヌイルコ A.A. 極東連邦大学学部長

② 日露専門家会議 (2013)

イ. 開催日: 2013年3月18日、19日

ロ. 開催地: ロシア連邦モスクワ市
(ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所
“IMEMO” 内会議室)

ハ. 内容:

<第1セッション>

「日露の国内政治と対外政策」

・ロシア側報告

「ロシア内政情勢の主要パラメーター」バラノフスキーV.G.氏

・日本側報告

「日本の国内政治と対外政策」長島昭久氏

<第2セッション>

「東アジアにおける不安定要因と日露の戦略」

・ロシア側報告

「東アジアおよび環太平洋安全保障の新しい構造」メーヒエフ V.V.氏

・日本側報告

「東アジアにおける不安定要因と日本の戦略」森本敏氏

<第3セッション>

「日露協力の展望」

・ロシア側報告

「不和の島: 20年を経て」クナツゼ G.F.氏

「ロ日関係の展望」シヴィトコ V.G.氏

・日本側報告

「日露の経済協力について」吉崎達彦氏

<参加者>

【日本側参加者】

(敬称略、代表より下は50音順)

1. 袴田 茂樹 日本側代表、安全保障問題研究会会長、青山学院大学国際政経学部教授
2. 伊奈 久喜 日本経済新聞社特別編集委員
3. 宇都 隆史 参議院議員、自民党国際局次長
4. 神谷 万丈 防衛大学校総合安全保障研究科・国際関係学科教授
5. 常盤 伸 東京新聞外報部デスク兼論説委員
6. 長島 昭久 衆議院安全保障委員会筆頭理事、衆議院議員、前防衛副大臣
7. 西原 正 平和・安全保障研究所理事長、前防衛大学校長
8. 兵頭 慎治 防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室長

- 9. 吹浦 忠正 特定非営利活動法人ユーラシア 21 研究所理事長
- 10. 森本 敏 拓殖大学教授、前防衛大臣
- 11. 宮家 邦彦 キャノングローバル戦略研究所研究主幹、AOI 外交政策研究所代表
- 12. 山田 吉彦 東海大学海洋学部教授
- 13. 吉崎 達彦 双日総合研究所取締役副所長、同チーフエコノミスト

【ロシア側参加者】 (敬称略、代表より下はロシア語アルファベット順)

- 1. ディンキン V.L. ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所 (IMEMO) 所長
- 2. アルバトフ A.G. IMEMO 国際安全保障センター長
- 3. ミーヘエフ V.V. IMEMO 副所長、同アジア太平洋研究センター長
- 4. チュフリン G.I. IMEMO 幹部委員
- 5. トルブニコフ V.I. IMEMO 幹部委員、ロシア国際問題評議会評議員
- 6. クナツゼ G.F. IMEMO ロシア連邦人権全権代表事務局副局長
- 7. バラノフスキー V.G. IMEMO 副所長
- 8. リャボフ A.V. 『世界経済と国際関係』誌編集長
- 9. フェドロフスキー A.N. IMEMO アジア太平洋研究センター・アジア太平洋地域基本問題課課長
- 10. シヴィトコ V.G. IMEMO 日本課長
- 11. カナエフ E.A. IMEMO アジア太平洋研究センター指導研究員
- 12. レオンチエヴァ E.L. IMEMO 下席研究員
- 13. ヴォダ K.R. IMEMO 上席研究員
- 14. ルコニン S.A. IMEMO 上席研究員
- 15. ルコニナ Y.S. IMEMO 下席研究員
- 16. コラベリニコフ V.V. 安全保障問題専門家
- 17. パノフ A.N. ロシア科学アカデミー・アメリカ・カナダ研究所主任研究員
- 18. ハルラモフ S.A. VTB24 銀行総裁顧問

(3) 関係先への協力

① 日ロ友好フォーラム 21

同フォーラムが主催したロシア大使館関係者と日露関係諸団体との親睦旅行ツアー「アフアナシエフ大使と行くロシア歴史探索の旅」につき、事務局として協力した。

② 虎ノ門政治外交懇話会

第 5 2 回

開催日： 2012年6月21日

開催場所： 当研究所3階会議室
テーマ： 「どうなる、どうするこの日本」
報告者： 長島昭久氏（衆議院議員、内閣総理大臣補佐官）

第53回

開催日： 2012年7月13日
開催場所： 当研究所3階会議室
テーマ： 「政局」
報告者： 上杉隆氏（社団法人自由報道協会代表）

第54回

開催日： 2012年9月14日
開催場所： 当研究所3階会議室
テーマ： 「中国での激論・迷論」
報告者： 坂本正弘氏（日本国際フォーラム上席研究員）

第55回

開催日： 2012年10月17日
開催場所： 当研究所3階会議室
テーマ： 「日中関係と近現代アジア」
報告者： 渡辺利夫氏（拓殖大学総長・学長）

第56回

開催日： 2012年11月27日
開催場所： 当研究所3階会議室
テーマ： 「メディアから見た中国」
報告者： 山田賢一氏（NHK放送文化研究所メディア研究部主任研究員）

第57回

開催日： 2013年1月25日
開催場所： 当研究所3階会議室
テーマ： 「日本の防衛政策」
報告者： 森本敏氏（前防衛大臣）

第58回

開催日： 2013年2月22日
開催場所： 当研究所3階会議室
テーマ： 「中国をどうみるか」
報告者： 宮家邦彦氏（キヤノングローバル戦略研究所研究主幹）

第59回

開催日： 2013年3月8日
開催場所： 当研究所3階会議室
テーマ： 「北朝鮮情勢」

報告者：重村智計氏（早稲田大学国際教養学部教授）

③ メコン地域研究会

毎月当研究所会議室において開催されている。

本報告期間中は4月18日、5月16日、6月13日、7月19日、9月20日、10月17日、11月21日、12月26日、1月30日の9回開催された。

④ コモン国際情勢研究会

毎月当研究所会議室において開催されている。

本報告期間中は4月27日、5月18日、6月22日、7月27日、9月28日、10月26日、11月16日、12月7日、1月18日、2月15日、3月29日の11回開催された。

⑤ 外交安保サマーセミナー2012

イ. 開催日：2012年9月7日～9日

ロ. 開催地：セミナーハウス湘南台（神奈川県藤沢市円行）

ハ. 参加者：講師24名、学生・社会人42名、事務局5名

別表 1

会 員 名 簿

2013年3月31日現在
特定非営利活動法人ユーラシア21研究所

1 正会員

(理事監事別 50 音順)

	氏 名		氏 名
1	吹浦 忠正	6	袴田 茂樹
2	吉岡 明子	7	兵藤 長雄
3	大貫 康雄	8	児玉 泰子
4	木村 汎	9	月出 皎司
5	西原 正	10	吹浦 房子

2 賛助会員

(入会順)

	会社名 ・ 指定代表者名	
1	ヒューマン・アセツ株式会社	代表取締役 阿部恭久
2	セガサミーホールディングス株式会社	代表取締役 里見治
3	株式会社山口商事	代表取締役 山口雅弘
4	株式会社九州エース電研	代表取締役 山田久雄
5	株式会社ビクトリア観光	代表取締役 松谷明良
6	株式会社玉屋	代表取締役 岩見吉朗

役員名簿

2013年3月31日現在
 特定非営利活動法人ユーラシア21研究所

	役名	氏名	所属役職
1	理事長	フキウラ タダマサ 吹浦 忠正	常勤
2	常務理事	ヨシオカ アキコ 吉岡 明子	常勤
3	理事	オオヌキ ヤスオ 大貫 康雄	(財)東京財団理事 前NHK欧州総局長
4	理事	キムラ ヒロシ 木村 汎	北海道大学名誉教授
5	理事	サセ マサモリ 佐瀬 昌盛	防衛大学校名誉教授
6	理事	ニシハラ マサシ 西原 正	(財)平和・安全保障研究所理事長 前防衛大学校校長
7	理事	ヒョウドウ ナガオ 兵藤 長雄	(財)東京財団評議員 元外務省欧亜局長、元駐ベルギー・ ポーランド大使
8	監事	コダマ タイコ 児玉 泰子	北方領土返還要求運動連絡協議会 事務局長
9	監事	ハカマダ シゲキ 袴田 茂樹	安全保障問題研究会会長 新潟県立大学教授